

# 市民の命とくらしの問題です

防衛省は、市長に警備部隊、ミサイル部隊などの配備を要請しました。自衛隊基地を置くことは、候補地周辺だけの問題ではありません。今後の石垣市の街づくり、産業、市民のくらしにかかわる重大問題です。

## 住民の安全を守るのでしょうか？

自衛隊の主たる任務は「武力攻撃の排除を全力で実施」することで、住民対策は「これに支障のない範囲」としかありません（防衛白書）。軍備より不測の事態が起こらないようにすることが安全への備えです。

## 配備計画の全容を市民に明らかにすべきです

防衛省は、配備候補地の具体的な地域も面積も明らかにしていません。ヘリコプターなど航空機の運用、米軍や今後陸自に配備予定のオスプレイの飛来や大型艦船入港など空港・港湾の利用、配備後の訓練、演習など、市長は配備計画の全容を国に求め、市民、議会に説明すべきです。

みんな  
で止めよう！

自衛隊基地

## 島のど真ん中に基地？

基地配備の候補地は、島のど真ん中「平得大俣の東側にある市有地及びその周辺」。もし、この場所に基地ができれば、私たちの暮らしにどんな影響がでるのでしょうか。



候補地

広さは？ミサイル車両が島の中を走る！？



### ■主な部隊の概要



隊員規模は500～600人



平和な島を守りたい

石垣島への自衛隊配備を止める住民の会

共同代表 上原 秀政

いま政府は石垣島に自衛隊のミサイル部隊を配備しようとしています。領海や国土防衛、防災のためだといいますが、平和なこの島に軍事基地をつくることには絶対反対です。安倍政権は「戦争のできる国」をめざして安保法制を強行成立さ

せ、自衛隊をイラクやシリアに出そうとしています。そうなれば隊員が戦闘に巻き込まれ、殺し殺されることになりかねません。島への自衛隊配備はこうした戦争づくりの一環だと思えます。基地はいつたんでも永久に島に居座り、

住民のくらしにも、観光にも悪影響を与え、安心して子育てもできなくなりそうです。保守だ革新だといっている場合ではありません。自然豊かで平和な石垣島、八重山を子々孫々まで守るためには、自衛隊配備反対と戦争法廃止を求める声をもっと広げなければならぬと思います。